



東久留米市にある自由学園が、45歳からの学校「リビングアカデミー」(LA)の3期生を13日(火)から募集する。それを前に、在校生に話を聞いた。新しいスタイルの「学校」とは？ 3回連載の初回。

5年以上にわたった母の介護を終えて疲れ切っていた昨年「タウン通信」でLAのことを知りました。70歳を過ぎていても大丈夫かなと思っ

のですが、閉じこもりがちでしたので、心身のリハビリのつもりで応募しました。

実際に自由学園の生徒になって毎回思うのは、この環境の素晴らしさです。正門を入ると、わーっと木々の緑が迫ってくる。新緑

の春も、茂る夏も、紅葉の秋も、

通う度に癒やされます



葉を落とした冬も、いつ見ても心が癒やされます。特に、キャンパスの坂を下った先に、パアッと大芝生が開ける光景は、「この生徒になって良かった」と心から思える瞬間です。

葉を落とした冬も、いつ見ても心が癒やされます。特に、キャンパスの坂を下った先に、パアッと大芝生が開ける光景は、「この生徒になって良かった」と心から思える瞬間です。

始まっていて、私は2期生ですが、2年続けて通う方が何人もいらしたので、先輩を頼れる安心感もありました。みなさん、同じような気持ちで集まっています。しゃべるので、すべ

け込むことができません。選択クラスは体を知る・動かす・作る」と「居ながら世界の美術館巡り」を取りました。しっかり体を動かして、感動できる心を持つ、と思って。おかげさまで、心身とも癒やされ、今は毎日張り合っている。喜んでいきます。もちろん、来期も通うつもりです。(談) ◆渡辺美智子さん、72歳 東久留米市在住。



東久留米市にある自由学園が開く45歳からの学校「リビングアカデミー」(LA)。在校生たちの声を集めた短期連載の2回目。

人生を振り返ると、学生時代から、ずっとなにかに帰属してきました。それが、サラリーマンの現役引退と同時に、ほとんど野に放たれる。まあ、どうしよう……。そんな戸惑っているときに、LAに出会いました。

妻と共に2年通っています。が、いつも刺激を受けています。緑の豊かなキャンパスはいっつも来て素晴らしいです。み

んなで集まった日にLAの校歌を歌うのも新鮮です。昼食を自分たちで用意し、片付けるなど、本当に学校なんだなあ」と実感します。今までになかった場たらしみじみ思います。思えばサラリーマン時代は、常に神経を張りつめ、頭の中には考え事がいっぱいでした。しかし、今は、リラックスした気持ちで、受け身で受講でき、校友たちとも、名刺交換をすることもなく、その場で共感し合えます。ややこしい人間関係もなく、そんな淡い交わりが、私には美に心地良いです。

違った世界に出会えた



選択クラスは「野鳥を取って、これまでに、長野県の上

は、まず考えられなかった異次元の世界です。実は先日、あるところで面白い話を聞きました。人生100年の時代。60歳までは、箱根駅伝なら往路だといつのです。そこまでは無我夢中で山を駆け上って、いっく。そして復路のス

ターゲット地点に立った60歳からは、経験を生かして走り切る。とが大事だといつのです。そのためには、健康が第一。健康を維持するには、小さなストレッチが必要だ、という話でした。 LAはちょうどその小さなストレッチ、小さな刺激をくれる場所だと思います。ちょっと外に出て、新しい人や話題に出会い、しかし深入りはしない。そんな適度な距離感を気に入っています。 ◆千葉昌信さん、77歳 武蔵野市在住。

来年度(4月)の新期生を募集。応募は3月20日まで。資料請求等はLA事務所 ☎042・4288・3387(6)へ。